

SONY

モバイルプロジェクター

取扱説明書

MP-CD1

© 2018 Sony Corporation Printed in China

お買い上げいただきありがとうございます。
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故が発生する可能性があります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

電池のリサイクルについて

本体内に収められている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、ソニーの「修理相談窓口」にご相談ください。ソニーの「修理相談窓口」の連絡先は本紙「保証書とサービス」の項目に記載されています。



主な特長・機能

- ① 持ち運びしやすいコンパクトサイズ
- ② 明るい105ルーメン(ANSI基準)
- ③ 5秒高速起動
- ④ 投影しながら充電と給電ができる
- ⑤ USB Type-C™を利用して充電が可能

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になる可能性があるため危険です。事故を防ぐためには次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

本文の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

動作の異常や破損に気付いた場合には、すぐにソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店へお問い合わせください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
 - 変なにおいがしたら
 - 内部に水などが入ったら
 - 内部に異物が入ったら
 - 本製品を落としたり、破損したときは
- ❶ お使いの機器、本体よりケーブルを抜き、電源を切る
 ❷ ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店へ問い合わせせる

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う危険性があり、かつその切迫の度合が高い内容です。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い内容です。



注意

取り扱いを誤ると、傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容です。



注意を促す記号

行為を禁止する記号



注意



③スピーカー
本体に接続した機器の音声を出力します。音量の調整は、接続した機器で行ってください。

④フォーカススライドキー
スライドさせて投影画像の焦点を合わせます。

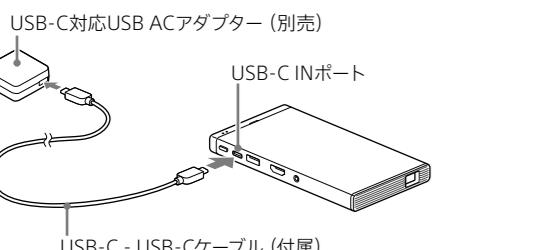
押し時間	動作
長押し(1秒以上)	電源を入れる
短く押す(1秒未満)	バッテリー残量の確認 音声/画質モードの変更(電源ON時のみ変更可能)

- ⑤ (電源)ボタン
- ⑥ USB-C INポート
本体を充電するときに使用します。
- ⑦ USB OUTポート
本体を使って給電したい機器があるときに接続します。
- ⑧ HDMI/MHL INポート
画像を投影させたい機器を接続します。

- ⑨ AUDIO OUT端子
ヘッドホンやスピーカーを接続します。
- ⑩ 三脚ネジ穴
- ⑪ 通気口
- ⑫ 投影口

本体を充電する

1. USB-C - USB-Cケーブル(付属)をUSB-C INポートとUSB ACアダプター(別売)に接続する



2. USB ACアダプターをコンセントに接続する
充電が始まり、 (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点灯します。
充電が完了するとランプが消えます。(充電完了前にケーブルやアダプターを外してもランプが消えます。)

ヒント
• 本体の電源の入切に関係なく充電可能です。
• 付属のUSB-C - USB-Cケーブルを充電使う場合、USB出力がDC5V 0.5 A以上のUSB ACアダプターで充電可能です。ただし本製品の最大入力電流は3.0 Aです。
• お手持ちのマイクロUSBケーブルとそれに対応するUSB ACアダプター(どちらも本製品には付属していません)を使っても充電可能です。マイクロUSBケーブルは、USB-Cアダプターケーブル(付属)に接続します。この場合、本体への電源供給は1.5A以下になるため、充電しながら本体を使用していてもバッテリー残量が減り、本体の電源が切れる場合があります。

バッテリー残量を確認する

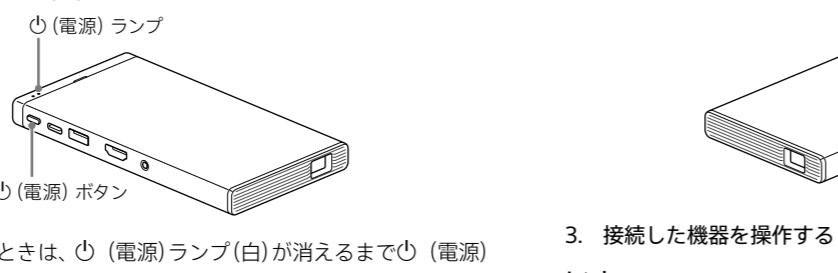
1. 本体の電源が切れているときに、 (電源)ボタンを短く押す(1秒未満)
→ (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点滅します。点滅回数で以下の表のように充電状態がわかります。

点滅パターン	バッテリー残量
※※※・※※※・	70% ~ 100%
3回点滅後、再度3回点滅	
※※・・※※・・	30% ~ 70%
2回点滅後、再度2回点滅	
※・・・※・・・	0% ~ 30%
1回点滅後、再度1回点滅	

ご注意
• 本体の電源が入っているときは、「音声/画質モードを変更する」(下記)の操作で (充電・給電)ランプが同時にバッテリー残量を表示します。

本体の電源を入／切する

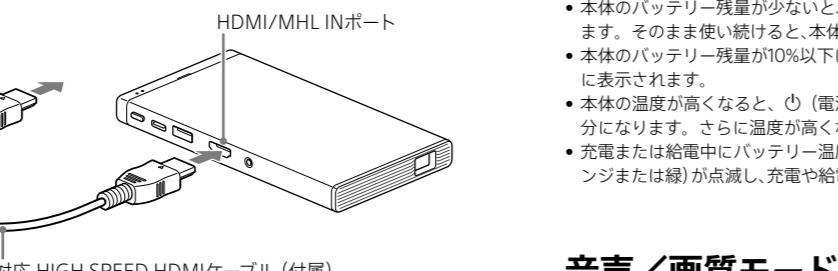
1. (電源)ボタンを長押しする(1秒以上)
 (電源)ランプ(白)が点灯します。



電源を切るときは、 (電源)ランプ(白)が消えるまで (電源)ボタンを長押しします(1秒以上)。

パソコンやPlayStation、その他のビデオ機器を本体にHDMI接続して投影する

1. イーサネット対応 HIGH SPEED HDMIケーブル(付属)で機器と本体のHDMI/MHL INポートを接続する



2. USB ACアダプターをコンセントに接続する
充電が始まり、 (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点灯します。
充電が完了するとランプが消えます。(充電完了前にケーブルやアダプターを外してもランプが消えます。)

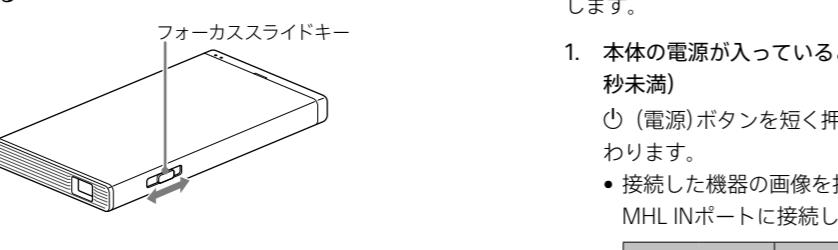
ヒント
• 本体の電源の入切に関係なく充電可能です。

• 付属のUSB-C - USB-Cケーブルを充電使う場合、USB出力がDC5V 0.5 A以上のUSB ACアダプターで充電可能です。ただし本製品の最大入力電流は3.0 Aです。

• お手持ちのマイクロUSBケーブルとそれに対応するUSB ACアダプター(どちらも本製品には付属していません)を使っても充電可能です。マイクロUSBケーブルは、USB-Cアダプターケーブル(付属)に接続します。この場合、本体への電源供給は1.5A以下になりますため、充電しながら本体を使用していてもバッテリー残量が減り、本体の電源が切れる場合があります。

音声/画質モードを変更する

2. フォーカススライドキーをスライドさせて、投影された画像の焦点を合わせる



3. 接続した機器を操作する

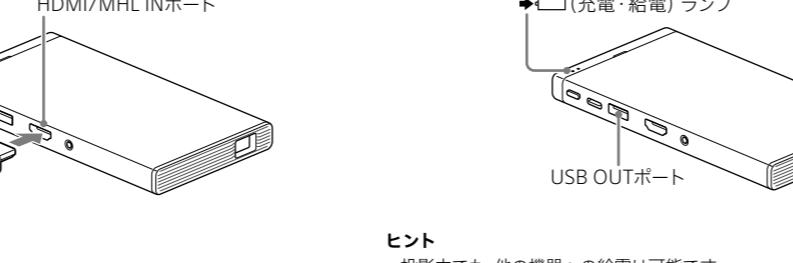
ヒント
• 本体には自動台形補正機能が備わっており、縦方向の画面の歪みが自動的に補正されます(土約40度まで補正可能)。本体を上下逆さまにしても補正されます。ただし天井に向けて投影しているときは、この機能は働きません。

• 投影中も本体の充電が可能です。ただし、USB ACアダプターの性能や投影しているコンテンツによっては、充電してもバッテリー残量が減る場合があります。

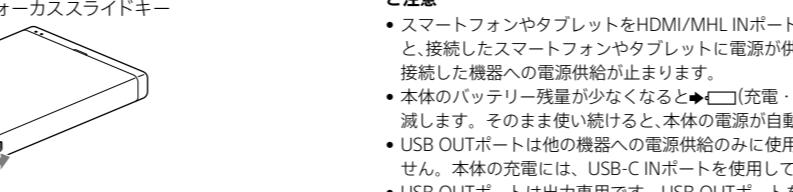
スマートフォンやタブレットを本体にMHL接続して投影する

1. MHLケーブル(別売)でスマートフォンやタブレットと本体のHDMI/MHL INポートを接続する

スマートフォンやタブレットにはMHLケーブルを通して本体から電源供給され、 (充電・給電)ランプ(緑)が点灯します。



2. フォーカススライドキーをスライドさせて、投影された画像の焦点を合わせる



3. 接続した機器を操作する

ヒント
• 本体には自動台形補正機能が備わっており、縦方向の画面の歪みが自動的に補正されます(土約40度まで補正可能)。本体を上下逆さまにしても補正されます。ただし天井に向けて投影しているときは、この機能は働きません。

• 投影中も本体の充電が可能です。ただし、USB ACアダプターの性能や投影しているコンテンツによっては、充電してもバッテリー残量が減る場合があります。

• アップル製の機器を接続するときは、アップル Digital AVアダプタ(市販)を使用してください。

• MHLケーブルは付属していません。

ご注意
• 本体のバッテリー残量が少ないと、 (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点滅します。そのまま使い続けると、本体の電源が自動的に切れます。

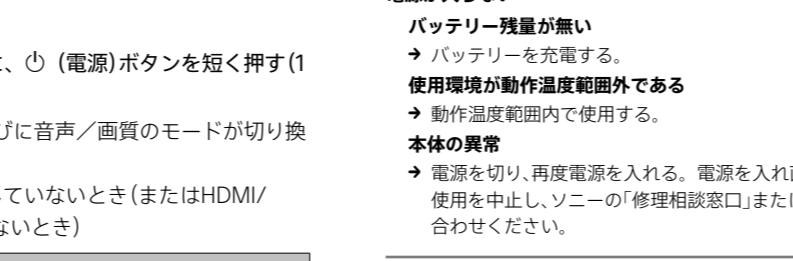
• 本体のバッテリー残量が10%以下になると、 (充電・給電)ランプ(オレンジ)が投影画面に表示されます。

• 本体の温度が高くなると、 (電源)ランプ(白)が点滅し、投影画面の明るさが半分になります。さらに温度が高くなると本体の電源が自動的に切れます。

• 充電または給電中にバッテリー温度が高くなった場合も、 (電源)ランプ(オレンジ)または (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点滅し、充電や給電を停止します。

音声/画質モードを変更する

2. フォーカススライドキーをスライドさせて、投影された画像の焦点を合わせる



3. 接続した機器を操作する

ヒント
• 本体には自動台形補正機能が備わっており、縦方向の画面の歪みが自動的に補正されます(土約40度まで補正可能)。本体を上下逆さまにしても補正されます。ただし天井に向けて投影しているときは、この機能は働きません。

• 投影中も本体の充電が可能です。ただし、USB ACアダプターの性能や投影しているコンテンツによっては、充電してもバッテリー残量が減る場合があります。

• 接続した機器の画像を投影しているとき

音声モードを切り換えることはできません。画質モードのみ以下のように切り換わります。

(ダイナミックピクチャ) → (標準画質)

充電しながら機器の画像を投影しているとき
音声モードを切り換えることはできません。画質モードのみ以下のように切り換わります。

(標準画質) → (ダイナミックピクチャ)

本体の充電時間が短い[約2.5時間(電源供給が3.0Aの場合)、約4時間(電源供給が1.5Aの場合)]の充電時間より早く充電が完了する

本体のバッテリー残量が多い

→ そのまま使用する。

本体の寿命または異常

→ 完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、新しい製品をお買い求めください。

→ 异常の場合はソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

使用環境が動作温度範囲外である

→ 動作温度範囲内でも、再度電源を入れる。

→ 電源を入れ直しても回復しない場合は使用を中止し、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

出力値の上限を超える

→ 接続した機器の入力仕様が本体の出力上限以内であるか確認する。

本体の異常

→ 電源を切り、再度電源を入れる。

→ 電源を入れ直しても回復しない場合は使用を中止し、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

USBケーブルがつなげられない

コネクタ部分の形状が異なる充電用USBケーブルを使用している

→ 正しい形状の充電用USBケーブルをつなぐ。

USBケーブルのつなぎたがが正しくない

→ USBケーブルを正しくつなぐ。

USBポートに異物が詰まっている

→ USBポートに詰まっている異物を取り除く。

他機器接続できない

お使いの機器がHDMI接続やMHL接続に対応していない

→ お使いの機器の仕様を確認する、またはお使いの機器の製造メーカーやお買い上げ店にお問い合わせください。

音声が出ない

音声モードが消音になっている

→ 画像を投影しないときに、音声モードを (消音解除)に切り換える。

接続した機器の音が小さいか、消音になっている

→ 接続した機器の音量を調整する。

ケーブル、コネクター、アダプターが正しく接続されていない

→ ケーブル、コネクター、アダプターを本体から取りはずし、再度接続する。

接続した機器や接続方法が画像形式に対応していない

→ お使いの機器の仕様を確認する、またはお使いの機器の製造メーカーやお買い上げ店にお問い合わせください。

ご注意

• スマートフォンやタブレットをHDMI/MHL INポートにMHLケーブルで接続するとき、接続したスマートフォンやタブレットに電源が供給され、USB OUTポートに接続した機器への電源供給が止まります。

• 本体のバッテリー残量が少なくなると (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点滅します。そのまま使い続けると、本体の電源が自動的に切れます。

• USB OUTポートは他の機器への電源供給のみに使用でき、本体の充電には使えません。本体の充電には、USB-C INポートを使用してください。

• USB OUTポートは出力専用です。USB OUTポートをパソコンのUSBポートなど、電源供給可能なUSBポートに接続しないでください。接続すると故障する恐れがあります。

• HDMIポートに接続した機器がスリープ状態になると、本体は一定時間後に電源供給を自動停止する場合があります。この場合は、USBケーブルをUSB OUTポートから取りはずし、再度同ポートに接続すると、電源供給が再開します。

投影された画面が台形に歪む

縦方向の歪みが大きすぎるか、横方向に歪んでいる

→ 歪みがなくなるように本体を動かす。

投影された画像がはっきりしない

焦点が合っていない

→ フォーカススライドキーをスライドさせて焦点を調整する。

焦点が合わない画面サイズになっている

→ 接続した機器の画面サイズが20型～120型になる位置に本体を設置してから、焦点を調整する。

給電できない、他機の容量が減る、または給電表示ランプが点灯しない

充電用USBケーブルのつなぎたがが正しくない

→ 充電用USBケーブルを正しくつなぐ。

バッテリー残量が少ない

→ 本体を充電する。

(充電・給電)ランプ(オレンジ)が点滅する

充電するとき (充電・給電)ランプ(オレンジ)が点滅する

→ 本体を充電する。

本体のバッテリー残量が無い